

地域包括支援センター シリーズ その7

高齢者あんしん見守りネットワーク

(高齢者をみんなで見守ろう編)

健康福祉課地域包括支援センター ☎ 25 1 1 8 2



市では、高齢者のかたが地域で安心して生活ができるようにみんなで見守り支えていくためのネットワーク作りを行っています。

どうして見守りがいるの？

高齢者のひとり暮らしでは、病気で倒れたり、家の中で転んでけがをしても誰にも気付いてもらえない心配や、孤独死の不安があります。ほかに認知症で徘徊したまま家に戻れなくなったり、悪質商法による被害も増えています。

また、高齢者が高齢者を介護する老老介護世帯も増えており、介護される人が虐待を受けるなどの問題も起きています。虐待や孤独死などの悲しい結果を防ぐために、普段から地域のみなさんの見守りが必要です。

見守り店・隊員募集

見守り協力員として高齢者のかたの見守りをしていただけるお店・隊員を募集しています。特別なことをするのはなく、普段の生活の中で、無理なくできる範囲での気遣いな声掛けなどをしていただきます。「様子がおかしい」、「いつもと何かが違う」などちょっとしたことから高齢者の異

変や不調がわかることもあります。

小さな変化に気付いて、気掛かりなことがありますたら、地域包括支援センターにご連絡ください。登録していただいたお店にはステッカーをお渡しします(図1)。個人での登録もできますので気軽にご連絡ください。また登録されたお店や隊員のかたには見守りのための講演会などの案内も行います。

自分や家族を登録しませんか？

- 外出先で倒れた時が不安
- 最近忘れがちなことがあるから何かあった時にどうしよう

このような不安があるかたは自分、または認知症の家族を登録することができます。登録されたかたには登録番号の入ったキーホルダー(図2)を提供しますのでつえやかばんなどのいつも持ち歩くものにつけてください。

何かあった場合は地域包括支援センターに連絡が入り、登録していただいた内容から、早急に親族などへ連絡ができるように対応します。(図3)

図1



協力店登録ステッカー



キーホルダーの取り付け例



キーホルダー(裏) 地域包括支援センターの電話番号



キーホルダー(表) 認知症のかたの登録番号

図2

図3 見守りネットワーク登録フロー図

